

桜めーる



平成十六年度

十六年度を振り返って
町内会長

前田 修三

第 62 号
発行
桜ヶ丘町内会
広報委員会

この二年間、十六年度の役員・桜プロジェクト・町づくり委員会三十周年記念事業分科会のみならず、町内会の皆さんとの協力とご支援により、十六年度の事業計画案を何とか遂行できました。

わが町桜ヶ丘を取り巻く内外の環境が大きく変化し、種々の問題が発生し、多くの課題を残すこととなりました。

特に、桜ヶ丘住民の生命と財産を守る「仕組み充実が必要で

桜ヶ丘町内会三十周年 節目の年

節目の年

昭和四十九年に三十四戸で町内会が誕生し、現在は約七百十戸前後となり、平成十六年度で三〇周年を迎え、昨年の四月に記念式典・桜の記念植樹・スタンブラリーなどの記念事業が町づくり委員会の三十周年記念事業分科会の企画・運営の基に十五・十六年度の役員・桜プロジェクト・住民の有志の協力により、盛大に開催できました。

緑あふれるすがすがしい町、心のふれあう町、安心安全な町、住んでよかった町、「をモットーに、桜ヶ丘町づくり委員会十四度を六月

発足し、町づくり委員会の成果を踏まえ、三十周年記念事業分科会から実行委員会になり、記念式典のみならず、神社周辺の桜・桜ヶ丘のホームページができ、新しい功績が形として、生き続けることとなりました。皆さんが植えた桜はげんきですか？。現在ホームページ管理委員会を発足し、よりよきホームページの検討が行われています。

環境関係では、「もれび池を愛する会」桜プロジェクトの環境グループ」の方々の地道な活動成果「もれび通信」家庭版ISO」取り組みを町内会の環境委員会の活動へと移行しました。桜プロジェクトの環境グループは毎月の活動で緑あふれるすがすがしい町の維持・向上させています。

より安心安全な町づくりへ

桜ヶ丘では安全・環境・心との繋がりが一歩、一歩、いいかたちになります。一歩、一歩、いいかたちになります。

しかしながら、アマトラ沖地震による津波「新潟中部地震」台風二十三号による洪水など天災による予想できなかった大きな自然災害が発生しました。

奈良の小学生殺人事件に代表されるように日本全体で治安が悪化し、桜ヶ丘町内会でも「侵入盗」振り込め詐欺未遂「悪質な業者の強引な取引訪問」など種々の犯罪が発生しました。自然災害・犯罪がこの桜ヶ丘でいつ、発生してもおかしくない環境です。

犯罪発生を未然に防ぐには、町内の皆さんそれぞれの繋がりが一番大切です。顔が見えることが一番、桜プロジェクトの健康グループのかたが、健康ウォーキングで会った人に挨拶されています。まずは町内での挨拶運動が、声を掛け合うことが大切です。挨拶から、桜ヶ丘町会も住民の皆さんとより具体的な防犯対策の仕組みを築き上げねばなりません。

また防災関係では、琵琶湖西岸断層地震の地震が起これば、桜ヶ丘は震度六弱との予測を発表されました。滋賀県・草津市でもより具体的な対策がすすめられつつあり、いろいろな形で「さ」というときに備えて「住民の準備をお願いしています。草津市の広報でも見られ

たし、防災対応器具を各町内会に配布され、桜ヶ丘会館に備え付けました。桜ヶ丘町会も住民の皆さんとより具体的に防災・減殺・地震対策が必要です。

これ以上の悪化を食い止め、より安心・安全な町づくりを進めるために「個人」家庭「桜ヶ丘町内会」玉川学区「草津市」滋賀県「何を」だれが「どのように」何時「どこで」どのような役割にならばいいかについて三十周年を機に、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」で臨まなければなりません。安心・安全な桜ヶ丘を目指し、私が変わります。皆さんも変わります。を合言葉にみんなで挑戦する時期です。

いろいろな活動・実践・議論 でよりよい桜ヶ丘町づくりを目指して

今後とも「町内会役員活動」町づくり委員会「桜プロジェクト」の活動がいきいきと実践し、お互いがぶつかりあい、議論をし、一歩前進し、ひよっとすると二歩後退することもあるかもしれませんが、できるだけ多くの皆さんと議論を交わして、前へ進みましょう。来年度は「町づくり委員会」の安心・安心分科会「組織検討分科会」を再活性し、桜プロジェクトの益々内容の拡充と深堀のある活動に期待しています。町内会の皆さんの参画と協力をお願い致します。

受動型から能動型へ依存型から自立型へと変わり、三〇周年を機に、町内に住んでおられる老若男女のすべての皆さんがより安全で安心な桜ヶ丘へ、町内住民が「丸」となり、ひとりみんなのために、みんなはひとりのために「自立した、一人」役の桜ヶ丘を合言葉によりよい桜ヶ丘町づくりを目指しましょう。

副会長

五班 北川 正明
八班 木下 文子
二五班 岩城 喬

十六年度は桜ヶ丘町内会が創設されて三十周年の節目の年でした。新班長は前年度より計画されていた三十周年記念式典などから町内会活動が始まりました。

班長会のメンバーには三十歳代から六十歳代の方々が主で、定期的な活動においてやはり女性のほうが主体でした。

これまで三十年間もやはり男性は仕事で、地域の仕事は女性が頑張ってきたと思います。しかし、最近では街づくり運動の組織として桜プロジェクトが生まれ、熱心な男性も、みんな元気で、楽しく、にぎやかな桜ヶ丘を目標に大いに活躍されています。また町内会も大変お世話になっております。

これからは町内の多くの熱心な男性や女性の方が、益々町内会活動に参加して頂けるのではないかと感じます。そしてより良い町内会や種々の活動が大いに発展していく時代に向かっていると思います。

われわれ副会長も町内会の活動に参加して地域の皆さんと触れ合い、楽しかったり、苦しかったりした体験は貴重なものになりました。一年間皆様方にご協力いただきまして感謝いたします。本当にありがとうございました。

総務回想録

三班 吉本 順子
二九班 吉留 芳美

就任四年目のベテラン会長、全員新米の老若男女の班長でスタートしたもの、時には会長が突然隊長に変身し、私たちは歩兵になっちゃったかのような体制に。不協和音が広がり、いつもは雑用係の

総務は心ならずも苦情受付係に。協調性と積極性を目標に試行錯誤の日々もありました。要は、桜ヶ丘を少しでも良くしていく、では自分に出ることは？の思いさえあれば班長も各役職も何とか務まっていけるのです。しかしそのかけらも無いと忙しい、しんどい、時間取られるの愚痴の連発に終わっています。

今年度はいきなり三十周年記念式典・秋には市長との懇談会もあり、例年より行事の多い一年でした。班内の皆様に支えられ、町内の皆様のご協力を得、年中行事をまもなく消化しようとしております。一長一短、得手不得手を皆でカバーし合いながら、それぞれがすばらしいリーダーシップとチームワークを発揮して来られたと思います。

班長をしたからこそ知り合えた素晴らしい皆さんに感謝し、また、総務のパートナーに心より感謝しつつ、皆様ありがとうございました。会長、今年度もお疲れ様でした。

会計担当を終えるに当たって

一班 下村 隆敏
七班 紺谷 優

十六年度の会計の担当もまもなく終わりを迎えますが、この間事故もなく一応ほっとしております。

四月の一括徴収分は、何しろ大金であり、銀行へ預け入れるまで保管に不安があり、気が重々でありませんでした。

夏祭りの現場における現金のやり取りは大変せわしなく、特に十分用意したつもりの釣銭に不足をきたしました。このことについては次の会計担当に申し送りしたいと思います。

ともあれ会計の任務を通じて桜ヶ丘の年間の行事の概略を認識できたこと、班長の皆さんに敬意に

していたことなど、所期の希望が適えられたのではないかと考えております。

保健衛生委員

四班 本田 静江
十二班 石原 香織
十八班 佐川 容子
二七班 井 千代
二八班 古谷 義明

一年前スタートした時には、「どうなることやら」と不安な気持ちでいっぱいだったのですが、何とか無事（？）に終えることが出来ました。

保険衛生委員五名、それぞれに仕事を持っている者同士なので、お互い出来る部分でカバーし合いながら、とてもいいチームワークで頑張っていました。何かと行き届かない面や失敗もありましたが皆様のあたたかいご理解とご協力のおかげで、くじけることなく、やせることなく（笑）、のびのびと出来たことを感謝します。また、なんとといっても、桜プロジェクトの方々の援助は、とても心強く、つい甘えてしまった部分もありましたが、力不足の私達にとつては、有難く、とても助かりました。本当にありがとうございます。

環境委員

一 班 服部 絹代
九 班 バジル 信子
十 班 永井 節子
二 班 神谷 喜美恵
二 六 班 高井 恵子

五人の環境委員がベストのチームワークで町内の環境が少しでも美しく保てるように、微力ながら奮闘して参りました。年間を通しての仕事は思ったより沢山有りましたが、何とか為し遂げることが出来て、委員一同安堵しています。この一年、多くのことを経験し、学び、

考えさせられました。

特に多くの方とお知り合いになったことやボランティア精神の大切さなどは、心の財産となりました。また、四季折々の美しいこもれび池の自然と鴨や鯉に沢山の幸せをもらいました。

しかし、課題も残されています。

・一向に改善されない犬や猫の糞の放置

・煙草、空き缶、空き瓶、プラスチック袋のポイ捨て：等々

委員の努力も空しく心残りでもあります。これらは、一人ひとりの心掛けに頼るしか残された対策は見つかりません。

美しい町とは、そこに住む人々の美しい心（心掛け）が一番大切なのだと痛感させられた一年でもありました。

これからもずっと美しい町であり続けるために、一人ひとりが気を付けて行きたいと切に願います。

最後になりましたが皆様の「ご協力」に感謝いたします。

防犯防火交通委員

十四班 大村 慶子
十七班 海老根 剛
二 班 服部 昭尚
二 三 班 安本 春美
三 班 榎本 和美

最近の報道でも「存知のとおり、子供を狙った凶悪な犯罪、振り込め詐欺、放火など、私たちの町内におきましても決して無関係であるとはいえない社会状況です。

実際に町内でも、不審者の出没、自動車の被害、悪徳セールスによる不法侵入、窃盗による被害が発生しております。

町内会では防犯パトロールを実施しておりますが、家庭の防犯対策も再度確認をお願いします。万一身に危険を感じたり、犯罪を目撃した場合には、直ちに警察へ連絡してください。

人間関係が希薄な地域には犯罪が発生しやすいと言われています。

まず、ご近所から「あいさつ」の輪を広げ、気軽に情報交換できる地域づくりを進めましょう。安全・安心な街づくりのために皆様ひとりひとりの日頃の心構えと実行力が不可欠です。

最後に、それぞれの立場から、ご協力いただきました皆様にお礼を申し上げます。今後とも町内発展のためにご支援よろしく願います。

一月二十二日 防災訓練

文化厚生体育委員

六 班 河田 堅太郎
十六班 瀬戸 美智子
二十班 渡邊 幸治
二 四 班 栗原 昌紀
三 十 班 高橋 潤司

無事にすべての行事を楽しく終了できたのも、協力してくださいました町内の皆様、そして委員の皆様のおかげです。心から感謝します。（瀬戸）

歩こう会に始まり、どんと焼きまで行事に追われた一年でした。一つの行事が終わるたびに、信頼関係が深まり最後には、バッチリ成功に終わったことは言うまでもありません。これも、素晴らしいメンバーに出会えたからこそです。

皆さん、町内の行事にはどんどん参加しましょう。必ずいい出会いがありますよ。（渡邊）

一年を振り返ると大変でしたが、良い思い出になることはかりです。私は今まで町内イベントにほとんど参加していませんでしたが、参加していただきました。運動会では日頃の運動不足を痛感！夏祭りでの販売の大変さなど。今後も、子供にはいろんな経験をを通して人との関わりを大切に、良い思い出を更に作って生きたいです。（栗原）

一年を振り返ると、文厚体を務めさせていただき、頑張った甲斐があったと思います。いろんな行事の中で多くの人の出会いを通じ、楽しい思い出が一杯出来ました。

これも、皆様ご協力のおかげと感謝しております（高橋）

人と人との出会いを大切にやって行きましょう」を合言葉に、各委員が行事の役割分担を決めた中で家族そろっての協力の下、事業計画を無事遂行することが出来ました。

これも、前年度文厚体の的確なマニアルの引継ぎによるものと感謝しているところです。私たち文厚体の行事は、町内の皆様の参加があつてこそ報われるポストで

すが、おかげさまで大勢の皆様の参加を頂き全委員とも充実感で一杯です。また来年の行事にも積極的に参加して行こうと意識統一しております。最後に、本部役員、各委員、桜プロジェクトの方々、町内会の皆様のご協力に心よりお礼申し上げます。（河田）

広報委員

十 班 田村 ひとみ
十三班 小林 由樹
十五班 堀山 知香
十九班 木村 さつき

一年前、右も左も分らない状態で広報委員の仕事始めたのがきのうの事のように思い出されます。あつという間でしたが、皆さんの経験を通して色々な事を感じ、考えることが出来た一年でした。

桜めーるの作成・発行を通じて町内の方々のさまざまな思いや考えをより深く感じる事が出来ました。

写真記録係として各行事に参加する事で、たくさんの方の笑顔や楽しそうな様子に触れることが出来ました。その裏で準備を行う方々の姿を見て、人と人が触れ合う場所があるということの大切さ、その場を提供するため努力されている方々への感謝の気持ちがより一層強まりました。

また、同推委員としての活動では、町内の方々の協力により町内学習懇談会を開催し、同和問題についての理解を深めることが出来ました。

至らないところも多々あったと思いますが、委員同士で協力しあい、何とか最後まで仕事をこなすことが出来ました。これも、「ご協力」していただいた皆様のおかげです、一年間本当にありがとうございます。

編集後記

今年度は町内会創設三十周年という節目の年でした。例年よりも行事が多く、本部役員、各委員共々いっそう努力してまいりました。今年度よりも来年度、来年度よりも来年度、年数を重ねることにより良い町にして行きます。

平成十六年度の桜めーるは、今回で最終となります。一年間ご愛読ありがとうございました。

一月九日 どんと焼き